

3D大画面ホームシアターがこの価格で！

フルHDプロジェクターHD33S1 オプトマから新登場!!

株式会社オーエスプラス e (本社：東京、代表：奥村正之) は、DLP 方式のホームユースプロジェクター、オプトマ HD33S1 を、12月1日より新発売いたします。オプトマ HD シリーズはホームシアタープロジェクターとして、世界中で愛用されるシリーズです。今回発売する HD33S1 は、1080P フルハイビジョンの 3D 対応プロジェクターです。わずか 4.5kg の筐体に高度な画像処理技術を結集し、市場想定価格 25 万円前後 (3D 眼鏡込) という低価格を実現いたしました。

「3D は劇場のような大画面で」とご希望の映画ファンには待望の HD33S1 です。

HD33S1 には 3D 対応機種として秀でた特長があります。それが DLP Link です。超高速イメージング DLP チップは、左目用と右目用の画像を交互に投影しながら、左右のフレーム (画像) 間に DLP Link による映像を送り、アクティブグラス (3D 眼鏡) と通信します。この独創的な方法により、メガネに同期信号を送る発信器 (エミッター) が不要になります。エミッターは通常外部設置のため、同期信号を映像に乗せて送る DLP Link は設置の手間が省け、時間とコストが節約できます。またクロストークと呼ばれる左右画像の重なりによる、ゴーストのような現象もほとんど感じない明るい映像が得られます。

HD33S1 は 3D ばかりでなく、2D の映像再現も十分な表現力を持ちます。明るさ 1800lm、コントラスト比 10,000:1 の、クリアでくっきりとした映像を実現。マルチカラープロセッシングが備わった Brilliant Color™ のテクノロジーは、映像を更に繊細に、鮮明に再現します。さらにオプトマ独自のイメージコントロール Pure Engine が、よりデリケートな映像調整を可能にしています。

ホームコントロールに不可欠の 12V トリガー端子を装備、将来的なシステム拡張にも備えています。映画館のデジタルシネマで映像のすばらしさが定評の DLP 方式。その映画館の画質をそのままに、手の届く価格を実現した、フルハイビジョンプロジェクター HD33S1。高級感のあるパールホワイトの本体は一般家庭のリビングにマッチし、3D 時代を身近にするプロジェクターです。

商品名: オプトマ フルハイビジョン 3D 対応ホームプロジェクター HD33S1

希望小売価格: オープン

市場想定価格: 25 万円前後

発売予定日 2011 年 12 月 1 日 (木)

専用アクティブグラス ZD201:

疲れにくい快適なフィット感



《HD33S1 の主な特長》

- フルハイビジョン DLP 方式、3D 対応
- 1800 ルーメン（UHP ランプ 230W）
- 3D アクティブグラス標準付属（DLP Link 専用）
- 外付けエミッター不要の DLP Link 採用（赤外線 3D 通信機能への切り替え端子も装備）
- クロストークのほとんど生じない 3D 映像
- 画面微調整に有効な V イメージシフト搭載
- Brilliant Color™テクノロジー採用、3 原色+3 色の補色による繊細な色彩再現
- より繊細な画像調整を可能にした Pure Engine
 - Pure Detail／画像のエッジを強調し、細部をくつきり表現
 - Pure Color／新しいカラーアルゴリズムとエンハンストを採用、映像の鮮明さを大幅にアップ
 - Pure Motion／自然な動きを損なわないアルゴリズム採用
 - Pure Engine Demo／処理されていない画面との比較を容易に行え、簡単な調整確認が可能
- 25dB の低騒音（ノーマルモード：標準時）

《外付けエミッター(発信器)不要の DLP Link》

超高速イメージングチップ DLP は、交互に二つの画面（右目用、左目用）を投写します。そして画像のフレームとフレームの間に、アクティブグラスへの追加信号を送り出し、奥行のある 3D 映像を結像します。一般の 3D プロジェクターは、エミッターと言われるメガネへの発信器が必要ですが、HD33S1 は外付けエミッターが不要で、セッティングの煩わしさも、コストも無用になります。

※DLP Link を楽しむためには専用のアクティブグラスが必要です。（HD33S1 は標準装備）

《視聴位置の自由な DLP Link》

一般的に 3D に使用される赤外線エミッターは、なるべく画面センターに位置する事が好ましいなど、視聴ポジションに制約があり、また頭を動かす事も同期に影響がある場合があります。HD33S1 は 3D アクティブグラスへのシャッター切替信号を送出する際に、DLP Link を採用し映像そのものに信号を付加し発信するため、赤外線方式と異なり、視聴ポジションの制約を受けることが少なくなります。

《クロストークを感じない HD33S1》

クロストークとは 3D 映像を見る際に、両目の映像を交互に高速で画面に映し出すため、瞬間的に残像のように二重映像に見えることを言います。HD33S1 は最大 120Hz という高速で映像を映し出すと共に、上記のようにフレームの間に DLP Link 信号を出す独特の方法により、クロストークを極限まで低減しました。

《Brilliant Color》

ブリリアント・カラー・テクノロジーは新しい色彩処理アルゴリズムおよびシステム・レベルのカラー信号画質向上処理を使用し、より優れた色彩を提供しながら、さらに高い輝度の画像を実現します。

《HD33S1 の主な仕様》

型式	HD33S1
希望小売価格(税込)	オープン
本体カラー	パールホワイト
投写方式	単板 DLP™方式
表示素子※1	0.65 型 1080p (1920×1080) DMD™パネル
アスペクト比※2	16:9、4:3、LBX、ネイティブ
明るさ(輝度)	1800 ルーメン
コントラスト	10,000:1
投写レンズ	1.2 倍マニュアルズーム/マニュアルフォーカス
使用ランプ	230W ランプ(ユーザー交換可能)
ランプ寿命	4000 時間 (ノーマルモード) / 2500 時間 (ブライトモード)
投写距離(16:9)	1.5m(37.6 型)~10 m (301 型)
キーストン補正	±5%(垂直)
ビデオ対応信号	HDTV(480P, 576P, 720P, 1080i/p)、480i, 576i, FULL NTSC、NTSC4.43、PAL, PAL-M, PAL-N, SECAM, HDMI(480i/p, 576i/p, 720p, 1080i/p)
コンピューター信号	Up to UXGA(1600×1200)
入力端子	HDMI×2 (HDMI1.4a, 3D フォーマット準拠)、VGA×1、コンポーネント×1、コンポジットビデオ×1、USB×1、VESA 3D port×1
トリガー出力	+12V
コントロール端子	RS-232
騒音値	25 dB (ノーマルモード)
電源	AC 100V~240V ; 50/60 Hz
消費電力	325W (ブライトモード) / 280W (ノーマルモード) / 0.5W 以下 (待機時)
外形寸法 (突起部含まず)	378.7 (W) × 312.8 (D) × 129.0 (H) mm
製品質量	4.5 kg
付属品	アクティブグラス(3D 眼鏡×1)、電源ケーブル、リモートコントローラー、レンズキャップ、単3 電池 2 本、ボタン電池、ノーズキャップ、ユーザーズマニュアル、保証書、クイックスタートガイド

※1 DMD/DLP テクノロジーの中核をなす半導体、デジタル・マイクロミラー・デバイス。半導体上に可動する極小のミラーが HD33S1 (1920×1080) の場合 207 万個以上敷き詰められ、1 秒間に数千回というスピードで切り替えられて、ミラーに当たった光を反射して画像を再現する。※2 アスペクト比/画面の横と縦の比率。※DLP™、DMD™、DLPLink はテキサスインスツルメンツ社の登録商標です。※SVGA、XGA、WXGA™は IBM corp.の登録商標です。

オプトマ社 Optoma corporation

1992 年創業。高品質な光学機器メーカーとして、欧米で OEM をはじめとした大きな実績を上げ、1999 年には米 TI 社が開発した DLP テクノロジーを採用、世界で初めて重量 5kg を切る DLP プロジェクターを開発。DLP プロジェクターにおいて、世界トップクラスのシェアを確立。2008 年 12 月発表の PK101 は大きな話題を呼び、ポケットプロジェクターという新しい市場を開拓。HD シリーズは、ホームシアター向けとしての映像作りに高い評価を得ている。

《本件に関するお問い合わせ》

株式会社オーエスプラス e 本社：〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18
コンタクトセンター
電話：フリーダイヤル 0120-380-495 FAX：フリーダイヤル 0120-380-496
E-mail info@os-worldwide.com

《本ニュースに関するお問合せ先・ニュース発信者》

株式会社オーエス 本部：〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18
マーケティンググループ 藤枝 昭
TEL.03-3629-5356 FAX.03-3629-5187 E-mail a.fujieda@os-worldwide.com

株式会社オーエスプラス e 会社概要

名称：株式会社オーエスプラス e

本社：東京都足立区綾瀬 3-25-18

創業：2000年10月

資本金：1000万円

代表者：代表取締役 奥村正之

事業内容：

2000年10月12日創業以来、日本市場に「家庭で映画を」と言う、ホームシアター文化を提案・構築。社名変更を機に、ホームシアターに留まらず、更に映像文化に関する幅広い取り組みを推進し、業績拡大を目指す。オーエスグループの中でも、最もエンドユーザーに近い企業として、グループ全体のスローガンである「キモチをカタチに」の実現を目指す。

《(株)オーエスプラス e 関連企業》

株式会社オーエスエム 本社：兵庫県宍粟市 <http://jp.os-worldwide.com/osm/>

株式会社オーエス沖縄黒板 本社：沖縄県中頭郡 <http://jp.os-worldwide.com/osb/>

OSI CO., LTD. (Hong Kong) <http://hk.os-worldwide.com/>

喜摩租賃(北京)有限公司：中華人民共和国

《日本総販売代理店》

OPTOMA 社(台湾)／世界初のポケットプロジェクターを発表した DLP プロジェクターメーカー

Vogel's 社 (オランダ) ／フラットディスプレイなどのスタイリッシュハンガーメーカー

SCREEN RESEARCH 社 (イタリア) ／ THX、ISF 公認のサウンドスクリーンメーカー

AV Stumpfl (オーストラリア) ／画像処理技術で世界的に定評あるメーカー

EASTONE 社(日本)／国産唯一の THX 認定スクリーン、eco スクリーンを開発する国内メーカー